

# 静岡市立清水浜田小学校

## 出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和6年5月2日(木)



「活動内容はねらいに沿うもので  
とてもよかったです。」

静岡市立清水浜田小学校の6年生27人が、勾玉について学んだり、作る体験を通して古代の人々の生活について理解を深めたりすることを目的に、勾玉作り体験を行いました。

### 勾玉作り体験

初めは、発掘調査や保存処理などの仕事をする中で、埋蔵文化財を県民の皆さんに知ってもらうことや、後世に伝えていくことの大切さなどを簡単に伝えました。子どもたちは反応しながらよく聞いてくれていました。

先生も一緒に勾玉  
を作りました。

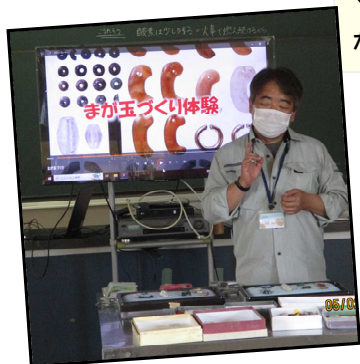
次に、勾玉の歴史についてセンター職員が説明しました。勾玉に使われる石のことや勾玉の形は日本独特のものだということを知り、感心していました。説明を聞いた後は、いよいよ勾玉作りです。滑石という柔らかい石を3種類の紙やすりで形を作りきれいにキズを取り、表面を滑らかにし、新聞紙で磨いてツヤツヤにしました。

「最初は心配だったけど、教えてもらってうまくできてよかった。」

実際に発掘された勾玉や、見本の勾玉を見て、表面の滑らかさに驚いていました。昔は、石で削っていたことを知り、昔の人のすごさを実感していました。今回は、

「削るのは大変だったけど、当時の人たちの苦勞が分かりました。宝物にします！」

90分間の体験時間でしたので、色つけまで出来た子どもは数人でしたが、概ね仕上げまで完成しみんな大喜びでした。



### 先生方の感想

「以前、センターが谷田にある時に体験授業で訪れて、火起こしや土器の分類など様々な体験を行ったことがあり、良い思い出だったので、今年度受け持った子どもたちにも体験させたいとの思いで、今回は勾玉作り体験を希望しました。子どもたちに記念となる物ができ、とてもよかったです。」